

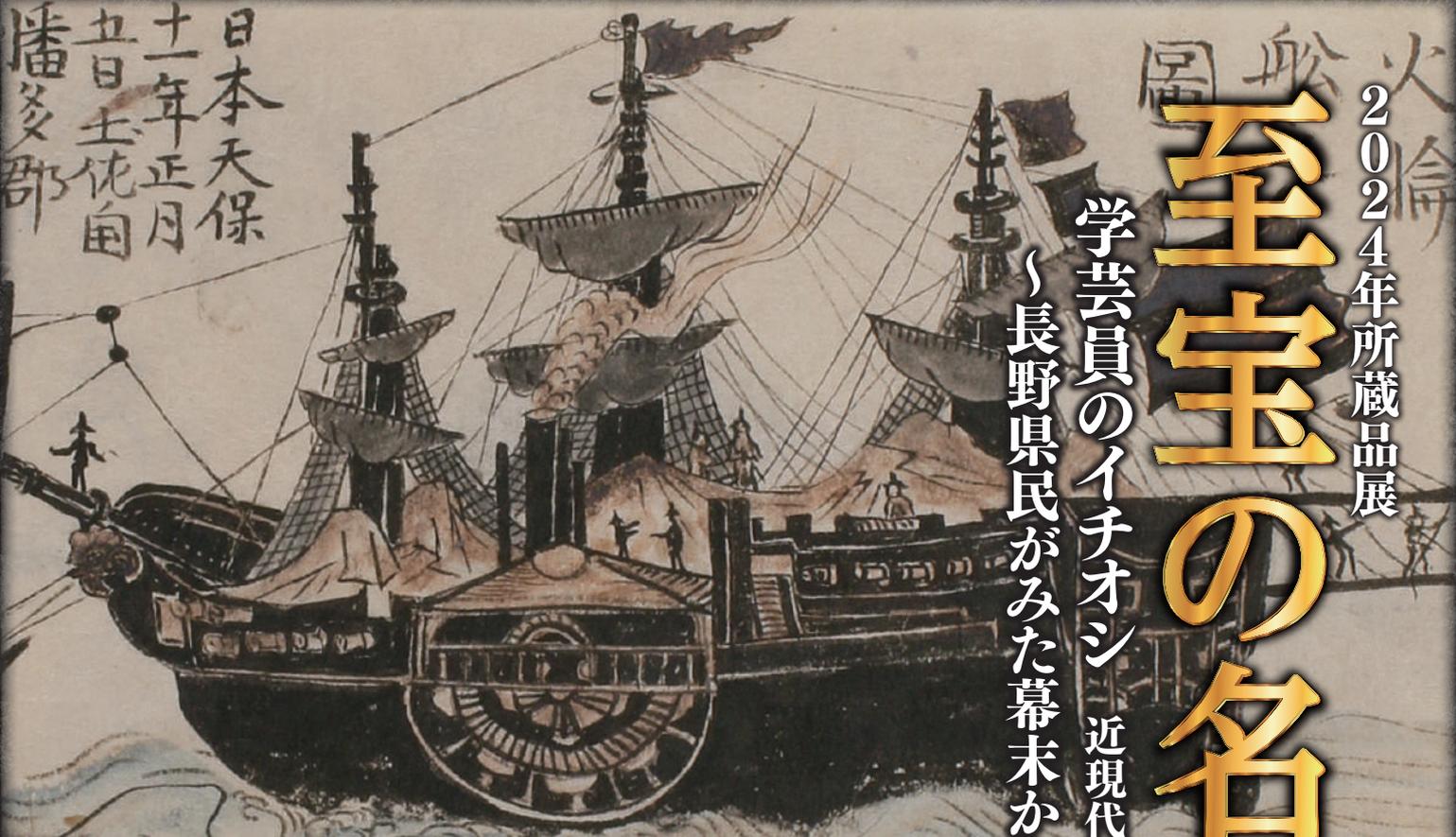
2024年所蔵品展

至宝の名品

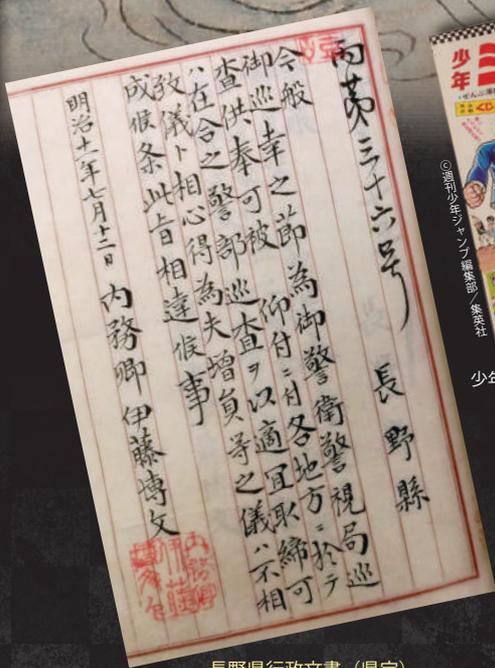
学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編

長野県民がみた幕末から現代

日本天保
十一年正月
廿日壬戌
自
播多郡



清水家文書(県宝)
亜墨利加始末(後期展示)



長野県行政文書(県宝)
北陸東海両道御巡幸 御巡幸二付達並通牒之部



少年ジャンプ



週刊プレイボーイ(後期展示)



anan(前期展示)



太陽

雑誌創刊号コレクション



岩波其残「農耕図」(部分)

※展示品の一部は、前期(3/23~5/6)後期(5/8~6/16)の期間限定の展示があります。

令和6(2024)年

3月23日(土)~6月16日(日)

- 休館日: 月曜日(祝日の場合は開館)と祝日の翌日(5/4~6は開館)
- 開館時間: 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 交通案内: 長野自動車道「更埴IC」から車で5分
しなの鉄道「屋代駅」・「屋代高校前駅」から徒歩25分

長野県立歴史館

〒387-0007 長野県千曲市大字屋代260-6
TEL: 026-274-2000(代表)・026-274-3991(総合情報課)
<https://www.npmh.net/>

主催: 長野県立歴史館

後援: 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団

長野県立歴史館では2021年から当館の所蔵品を公開する所蔵品展を開催してきました。今回は、幕末以降の近現代史に関する資料に焦点を当てています。

近現代は、記録媒体・方法の多様化や大衆消費社会の成立等によって、それ以前の時代とは比較にならないほどの膨大な数量・種類の資料が残存しており、当館でも多様な近現代資料を収集してきました。今回の展示では、近年に当館所蔵となったものや、これまで公開する機会の少なかったものの中から、当館学芸員のイチオシ資料を公開します。

展示資料は、「近現代資料の多様性を示すもの」、「近現代史上の画期となるできごとや近現代における時代・社会の変化を象徴するもの」という2つの観点に基づき7つのテーマに分類して展示を構成しました。急激な時代や社会の変化を伴った近現代という時代に長野県民がどのように向き合ったか、その一端を知っていただく機会になれば幸いです。

清水家文書 (県宝)

—大庄屋が接した黒船情報—



異国船御防禦出府中書記 (前期展示)

農耕図

—岩波其残が描いた信州の人びと—



岩波其残「農耕図」

長野県行政文書 (県宝)

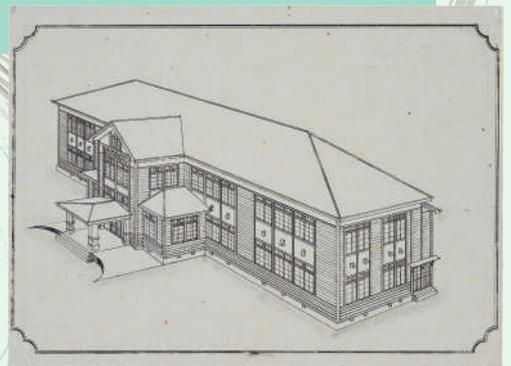
—天皇巡幸を迎えた長野県民—



北陸東海両道御巡幸 御巡幸二付向並照会之部

日本測定器株式会社疎開資料

—「世界のソニー」の原点がここにある—



日本測定器株式会社須坂工場鳥瞰図 (後期展示)

満洲移民関係資料

—人びとが記録した満洲—



日満国旗はためく開拓村 (前期展示)

雑誌創刊号コレクション

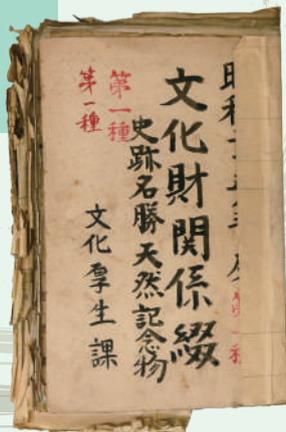
—出版物にみる現代信州人の「目」—



週刊新潮

遺跡の調査記録

—新たな地域史の発見—



文化財関係綴 史跡名勝天然記念物

